2022年度活動概要　　教育問題研究会

2022 年度の教育問題研究会の活動について

中心的研究テーマ

・小学校学習ポートフォリオ開発

・『言語教師のポートフォリオ』と『言語教師のポートフォリオ　エレメンタリー』の活用研究

上記を中心的なテーマに、日常的な活動として、月例の研究会活動を開催した。

小学校学習ポートフォリオ開発については、小学校の主要教科書の分析を行い、技能編と文化編から構成される「中学校へのパスポート（小学校英語学習到達目標としての総括的自己評価記述文）」を開発した。小学校教員の協力者 3 名が、それらを活用し 1 年間実践活動を行った。7 月 30 日にはオンラインで「中学校へのパスポート」の実践報告会（中間報告）を行った。また、2023 年 3 月開催の言語教育エキスポでは 1 年間のまとめとして、シンポジウムを行い「中学校へのパスポート」活用の利点や課題について報告した。さらに、ポートフォリオの一部となる「言語学習記録（バイオグラフィー）」の研究も開始され、教科書分析からコーパスを作成し、プロトタイプの開発を行った。

『言語教師のポートフォリオ』と『言語教師のポートフォリオ　エレメンタリー』の活用研究については、大学の教職課程で活用している研究会メンバーらが、模擬授業や教職実践演習における効果的な活用方法について研究し、成果を論文にまとめた（『言語教師教育』Vol.10 No.1 に掲載）。

例年、研究会の最も大きな研究大会として「言語教育エキスポ」を開催しているが、今年も 400 名以上の参加者があり、対面とオンラインにより活発な論議が行われた。

研究成果の報告として、紙媒体とオンライン（print edition ISSN: 2188-8256/online edition ISSN: 2188-8264）研究会会誌『Language Teacher Education 言語教師教育』Vol.9 No,2（2022 年 8 月）、Vol. 10 No.1（2023 年 3 月）を発行した。内容は、英語教職課程におけるリフレクションや協働的振り返りに関する論文、実践報告、および、その関連領域に関する研究ノート、実践報告、書評などとなっている。

来年度においては、引き続き上記の研究テーマについて研究を行う予定である。